



発行所 岐阜県加茂郡白川村公民館 印刷所 今井印刷

結婚改善

盛り上る「改善意欲」

「次第にたかまる理解と関心」
「自発的な組織も生る」

昨年十一月、本村が新生生活運動の一環として結婚改善の問題を提起し、改善基準を設けて、公民館、婦人会、青年団等を通じ、村内へ呼びかけて来たが、その結果、次第に関心もたかまり、漸次改善の方向にむかいつゝあるようである。

また公民館事業として始めた公民館結婚式も既に四組の式を挙げ、参会者からも仲々の好評を博しているが、特に五加方面では青年団、婦人会が一諸になつて村の改善基準から更に細かな申合せを作り、活潑な動きをみせている。

一方、部落の中にも改善意欲の盛り上りつつあるところもあり、黒淵部落では

「結婚改善」の申し合せ

五加の青年と婦人が話し合う

五加の青年団と婦人会では、このほど「第二回婦人と青年の集い」を開き、結婚改善の問題について話し合ったが、その後青年団家政グループが中心となつて世論調査や村の基準をもとに次のような申し合せをつくり、青年団と婦人会が協力して五加区民にその実行を呼びかけている。

◆申し合せ◆

- 一 なが餅に類する物は一切廃止する。(紙くぼり、菓すくぼり等絶対やめること……金の多少にかかわらず)
- 二 嫁ぶれは自爾する(嫁ぶれの際やりとりする祝儀物、手土産は廃止する……嫁の紹介も嫁が親せきを理解する意味で初対面することであることを考へ最も有意義にする)
- 三 衣裳見せは止める事(お互互に衣裳見せは止め、またお互互に見に行かない様にし、若し見た場合はそ

総予算 四千万円を突破

村議会第一回臨時会で

新春初の村議会臨時会が去る一月三十一日、東白川村公民館で開催され、新築官行造林地内林道の新設工事の施行案及びこれに伴う追加予算等三件が審議されたが、それら、原案通り可決された。

① 歳入	1,000,000円
② 村有林素材売払代	1,000,000円
③ 戸籍手数料	200,000円
④ 合 計	1,000,000円
⑤ 歳出	1,000,000円
⑥ 樹苗購入及び植樹関係費	200,000円
⑦ 新築林道新設事業費	200,000円
⑧ 合 計	1,000,000円

⑨ 特別会計分 (国保及び公益質屋分) 五三,〇〇〇円

三十二年度

土木事業の現状と耕地

現在村では次の様な各事業に着手し、又着手予定を業に着手し、これらの事業が完成されればその経済効果は極めて大きく、地元民の大きな期待が寄せられている。

- 長二二三米 東単土地改良事業
- 加舎尾農道新設 第一期分、巾三、六米
- 赤原嶽附近
- 谷端橋 永久橋に架替
- 村単独事業
- 大沢橋 架替
- 杉田屋橋
- 魚戸橋
- 西洞橋 永久橋に架替
- 日向農道 歩広め
- 巾三、六米長五一四米
- 東単独事業
- 久須見林道新設 巾三、六米長一六三米

新築に林道が延長 九八九米

新築村有林地内にある官行造林の保管管理や間伐材搬出路として新らしく林道を作られている。

この新林道は既設林道の終点より官行造林地に至り東に延びるわけである。こ

れら調度品について批判ある。とにかく新生活運動の推進は一人や二人で出ることなく、みんなが力を合わせ、青年団や婦人会が中心となつて活動していること……この他色々話したが、これから確認できたことは大きな収かくであつたと洩らしている。

一等級は二戸

今年度の資力等級決る

ことしの資力等級作成委 ふうたはほか、それらの資 員会が去る一月十七日役場 産能力に応じ若干の移動が で開かれ、各区より選出さ あつたが、特に九十等級あ れた関係者の手によつて本 たりで戸数が多くなつた。 年度の等級が決められた。 なお、新しい基準は次の ことしは一等級が二戸に 通り。

昭和三十三年度等級基準表

等級	戸数		基準点数	基準総点数	等級	戸数		基準点数	基準総点数
	今年	前年				今年	前年		
1	2	1	2,000	4,000	17	49	55	103	5,047
2	1	1	1,597	1,597	18	52	49	86	4,472
3	3	1	1,331	3,993	19	40	40	72	2,880
4	2	3	1,109	2,218	20	33	32	60	1,980
5	5	2	924	4,620	21	36	34	50	1,800
6	4	5	770	3,080	22	39	41	42	1,638
7	3	4	642	1,926	23	50	44	35	1,750
8	5	3	535	2,675	24	34	42	29	986
9	11	8	446	4,906	25	62	63	24	1,488
10	16	8	372	5,952	26	52	52	20	1,040
11	8	18	310	2,480	27	42	40	17	714
12	11	15	258	2,838	28	52	49	14	728
13	23	23	215	4,945	29	72	73	12	864
14	21	22	179	3,759	30	113	103	10	1,130
15	31	29	149	4,619	免除	44	48	0	0
16	41	39	124	5,084	計	957	947		85,209

「滞納整理月間」 滞納のない明るい村に

3月1日～31日

本村の村税徴収 一村内主要個所に「滞納整 理月間」のポスターを掲 示します。 各位の格別の御理 解と御協力により 徴収成績も逐年著 しく向上し、現在 一役場内に納税相談所を開 設して納税者からの苦情 の処理、異議申立、疑義 事項の回答等を行います 一三月一日現在の滞納者で 督促状未発付のものにつ いて全部督促状を発付し ます。

一時間以上の許すかぎり常時戸 別巡回して徴収に努めま します。

一議会の側面的援助を求め 必要によつては議員によ る納税勧奨を求めます。 一督促状の指定期限までに 税を完納せず、自主的納 税の見込のないものに對 しては財産の差押を実施 し、なお完納しないもの については三月下旬中に 差押財産を公売します。 一納税秩序を確立するため 延滞金、督促手数料、延 滞加算金等の徴収は厳正 に行います。 (特にお願い)

月の納税

固定資産税第四期分

(納期は月末まで)
早い目に納税現金の積高を調べておきましょう。

固定資産税課税 台帳を見ておこう

現在村税の滞納額は、税金総額の約四パーセントであり、この中大部分がこの月間中に整理できるものと村では期待しております。

村では三月一日から三月二十日まで固定資産課税台帳を縦覧に供します。

すが、県から指示される平均価格が、宅地三、六%、田三、五%、畑三、八%、山林四、九%、原野五、三%とそれより前年より増額され、家屋については八%減額される予定でありますので、評価額に大巾な異動がありますから固定資産を台帳を見ておくべく多く

税金の総決算

確定申告が始まる

二月十六日から始まる確定申告はいわば税金の大晦日である。今年の確定申告で税金を計算する場合にはすべて新しい税率や控除を適用することになるから間違えぬ注意が肝腎である。参考までに今年適用される控除の額を掲げると次のとおり。

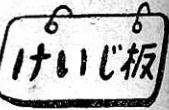
基礎控除——八万七千五百円
給付所得控除——年收四十万円以下二割(従前どおり)年收四十万円から八十万円まで七分五厘控除の最高限度額は十一万円
生命保険料控除——支払った保険料の額が一万五千円までの場合は金額二万七千円までの場合は一万五千円以上の場合は二万七千円をこえる場合は一割の一を加えた額。二万七千円をこえる場合は二万一千円。なお、一契約で九千円以上の保険料控除を受けようとするとき

村民税第四期分 完納部落数

トツプを記録

村県民税第四期分の期限 村外の納税者をも含めてわ内納付状況は、全体の金額 ずか二十三名という好成绩 において前期分と変りなが、完納部落数は九部落に いたが、滞納者数は第三期分 のほり今までのトツプを記 の四十七名に対し、今回は 録した。

部落名	納付率 %
口尾谷洞坂山淵代見向神田付通沢	100
大加中曲柳黒宮久日大下神中大	100
除下柏上	100
平	100
地野	100
本田	100
須明親	100
須明親	99.43
須明親	98.99
須明親	98.86
須明親	98.20
須明親	98.76
須明親	98.99
須明親	87.99
須明親	86.86
須明親	83.75
須明親	83.62
須明親	78.78
須明親	54.06
須明親	52.06



先づ許可申請を農地の移転や売買

最近各所で農地が知らぬ間に宅地と化したり亦許可なくして他人に売買したり、或は小作地を解約する人があるように見受けますが、これ等は総て違法行為であります。自分の農地を自分に勝手に処分するの何が悪いと云う様な考えをもつ方も中にはあるかも知れませんが、法治国である上はあく迄も法に従わねばなりません。決して処分出来ないといふわけではなく農地法に定められた所の手続きを行えばよいわけです。こゝで今一度その申請等につきまして簡単に知らせたいと思います。最近目立つて多い農地の売買は或は贈与の申請等手続きに關しましては、その予定農地を農業委員会へ申請して戴くのです。申請方法の詳細は農業委員会に相談下さい。この申請の際に既に売買済みと云うような農地を申請する人もありますが、必ず売買前に申請するようにして下さい。この皆さんが提出

●働きつつ学ぶ●

農村建設青年隊募集

農村青年(特に二三男)が開拓建設工事や、災害復旧事業などの公共事業に集団で従事し、その間共同生活を自治によつて運営しながら勉強し、知識技能を修得することによつて、有為な青年技能者として、農村の振興に役立つ青年を養成するを目的として、全国各地に農村建設青年隊が設置されているが、県下でも昨年四月第一期生を募集し、現在恵那市大井町の隊舎で養成中である。

◆募集要項◆

- 一 応募資格
 - 心身健全で、共同生活に耐え得る満十八才以上二十五才未満の男子
 - 二応募期限 三月二十三日まで
 - 三入隊手続 所定の願書に履歴書及び健康診断書を各二通宛村長を通じて県開拓課へ提出する。
 - 四学科及び講習科目 憲法、民法、農地法、農業協組法、農業経営、農業簿記、農村及び開拓政策

☆☆☆☆☆ 長寿の秘けつは 八〇才以上一七一名

村ではこのほど村内の満八十才以上の高令者の調査を一月一日現在で行つたがそのまとめによると本村の該当者は、陰地越原げんさん(満九十一才)慶応二年生(筆頭)に男二十六名女四五名の多数にのぼる。その中には大口今井金五さん(八十一才)のように毎日スクーターに乗り廻しておられる元気な方もあり、全員について長寿の秘けつ? わが村の高令者数

年令	男	女	計
満八〇才	六	一〇	一六
八一才	七	一〇	一七
八二才	一	八	九
八三才	一	二	三
八四才	四	四	八
八五才	五	三	八
八六才	〇	四	四
八七才	一	一	二
八八才	一	一	二
八九才	一	一	二
九〇才	一	一	二

郡代表に田口君

蚕業青年発表会

日頃、蚕業推進の第一線にあつて、養蚕技術の改善と経営の合理化を図るため活動している蚕業青年研究会の第二回研究発表会が去る一月二十八日、美濃加茂市太田町蚕業会館で開催されたが、これに本村からは早瀬甲司、田口みち夫君が参加して、一年間の血のにじむ挺身活動した体験や研究成果を発表して、多数の聴講者に多大の感銘をあた

入学児童 一三四名

三十三年度の新学期も、もうあとわずかに迫つていながら、教育委員会では、こじむ挺身活動した体験や研究成果を発表して、多数の聴講者に多大の感銘をあた

男	女	計
三三	二八	六二
二二	二〇	四三
七	二二	二九
計	六四	七〇

えた。なお、審査の結果本村田口みち夫君が第一位に入賞し、三月岐阜市で開かれる県大会に郡市代表として出場することになった。第一位「私達のクラブ活動と近代養蚕」田口みち夫君... 尚病氣その他の事由で入学困難と思われる者についても、至急申し出て所定の手続をとるようのぞんでゐる。

なお、校下別の入学児童数は次の通り。

わが村の高令者数



三十三年度青年団活動の最後の行事として今年も、公演会が近づいたが、元来青年自から演ずる公演会とは自己を高める。言い換えれば「人間形成」がそのねらいであると云えよう。こうした人間形成という目的を持つ青年の公演会は戦後の娯楽的な欲求という不本意な形で再盛期を迎えたのであるが、社会の安定化から公演会本来の姿に立返ろうとする意欲が芽ばえつつあることは喜ばしい。

公演会のあり方

村のような農山村ではその地域の生活機構をよく考察し、それを解明するということ。そして又、公演会という如き比較的大きな行事は青年団員一人一人の自覚と協

力なくしてはとうてい実行は不可能である。チームワーク、換言すれば全員が呼吸がピッタリと合わなければならぬ。つまり演劇は出演者即ち公演会の立役者ではないということである。否むしろ姿見せざる道具係、照明係その他の方が重要なのである。これらなくして公演会は成功しないといつても過言ではない。団主催ならば団員は一致協力するといふ体制を持ち得る事は健全なる明日への社会生活を今一度青年団員は銘記すべきではなからうか。

これらが公演する青年側の態度とするならば鑑賞者の村民はどんな態度であるべきかという事が想起されて来る。遺憾ながらまだその鑑賞態度は出来ていない。観笑者、観泣者がそのほとんどではないかと思われ。即ち、たゞ単なる悲劇物、或はヤクザ的な痛快さを求めているのではなからうか。そうではなくして鑑賞者は青年と共に悩み、共に考え、共に問題を見出してその究明と解決に協力努力するという態度が望ましいのではなからうか。又そうした態度で青年の公演会を鑑賞したならば鑑賞者自身の間形成にも通ずると思われ。

青年団の動きあれこれ

新団長に熊沢君

青年団最終総会

本村青年団では難航をつゞけ、再三協議の去る七日午後一時末次の通り決定した。
より公民館で三十二年度最終総会を開き、事業及び会計中間報告、運営機構改革案の審議、正副団長の選挙等を行つたが、新役員を選出は非常な

必要に応じてその都度活動委員会を構成し、事業の推進をはかるうとして、これらの新役員はいまから新年度の計画にとりかゝり四月よりすぐ発足できるように準備を進める。

実績研究発表会の成績

- 加茂郡市青少年クラブの第四回研究実績発表大会は去る一月二十三日、美濃加茂市公民館で開かれ、
- 優秀賞 藤井茂樹
- 優秀賞 安江百々子
- 三生活改善の部
- 優良賞 今井光彦
- 優良賞 安江百々子
- 四青年学級の部
- 優秀賞 藤井茂樹
- 五ポスターの部
- 優良賞 藤井茂樹

越小一廃品集めで

シロホン 20台 新調

越原小学校のよい子たちは、自分達でかせいで何か楽器を買おうと、先頃から日曜日に各家庭を廻つて廢品集めを行った結果、二回の上上げが七千六百円余りにもなつたので、児童会で相談し、そのお金でシロホを買つてやつた。

団体優勝！

郡の弁論大会で

加茂郡連合青年団主催による町村対抗弁論大会が去る九日川辺町において開催されたが、本村からも五名の代表者がこれに参加、各町村より選抜された三十余名の弁士にまじつて、舌戦を展開したが、本村は団体の部において優勝し、個人の部においても次の通り優秀な成績を挙げた。

「青年の生活を語る会」に
今井君上京
昨年十二月八日に県青協(県青年団体協議会)が行つた「青年の生活を語り合う会」に本村青年団から神戸分団今井登君はか高木勉

村の図書室

昨年の十一月一日から貸出しを始めました移動文庫は、皆さんから多大の御好評をいただいています。特に大明神文庫などは一月延一〇冊程の貸出しを行つております。

- △移動文庫は左の通り、
 - △大明神文庫 田口新太郎氏
 - △越原文庫 農協越原支所
 - △五加文庫 五加公民館内
- おねがい●
みなさんからの意見や、明るい話題がありましたら、